

熱中症対策に係る静岡市の取組

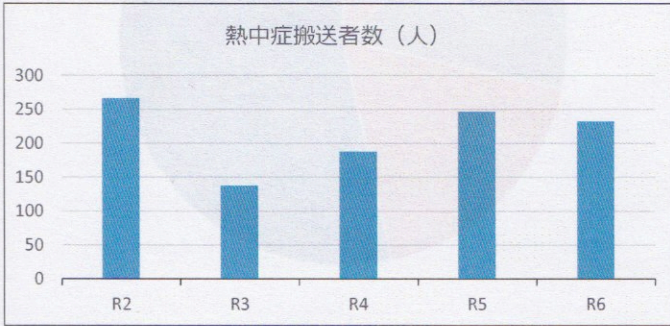
Confidential

取組概要

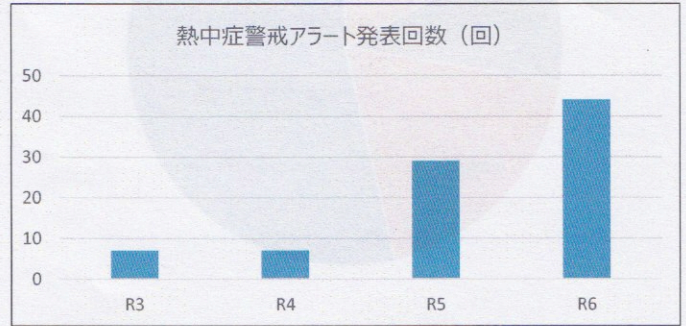
近年、静岡市の熱中症搬送患者は増加傾向にあり、熱中症警戒アラートの発表回数も急増している。このような状況の中、令和5年5月12日に気候変動適応法(平成30年法律第50号)法及び独立行政法人環境再生保全機構法(平成15年法律第43号)が改正され、国をあげて熱中症対策の強化を図ることとなり、地方自治体も対策を推進していくことが求められている。

本市ではこのような状況から、熱中症警戒情報(熱中症警戒アラート)・特別警戒情報(特別警戒アラート)が発表された際の情報伝達や指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)の運用等を実施し、熱中症対策を強化した。

静岡市の状況



年度	R2	R3	R4	R5	R6
熱中症搬送者数	266	137	187	246	232



年度	R2	R3	R4	R5	R6
熱中症警戒アラート発表回数	-	7	7	29	44

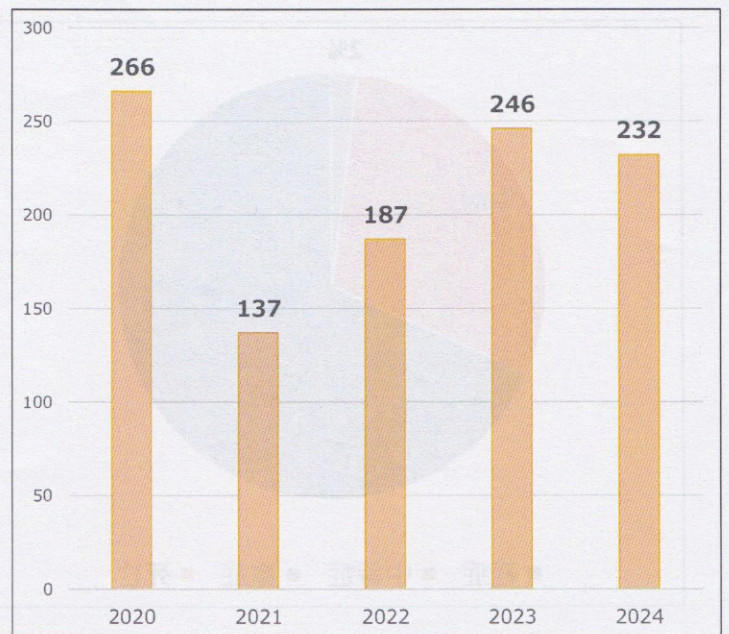
【静岡県・静岡市】熱中症救急搬送者数推移

Confidential

■ 静岡県



■ 静岡市



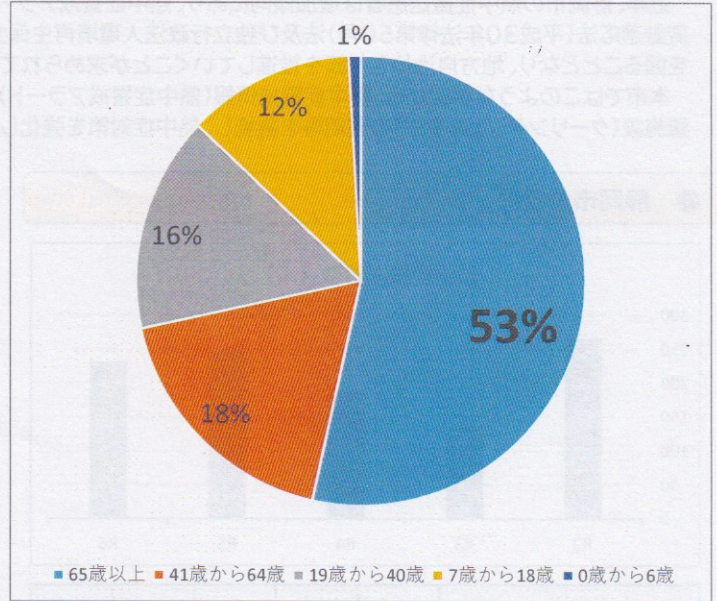
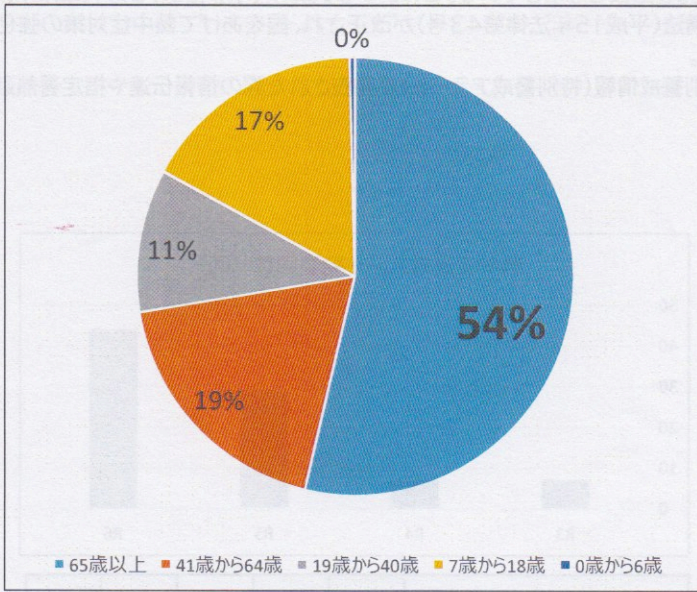
昨年、静岡県の救急搬送者数は増えたが、静岡市は減少した

【静岡市】年齢区分別救急搬送者数

Confidential

■ 2023年

■ 2024年



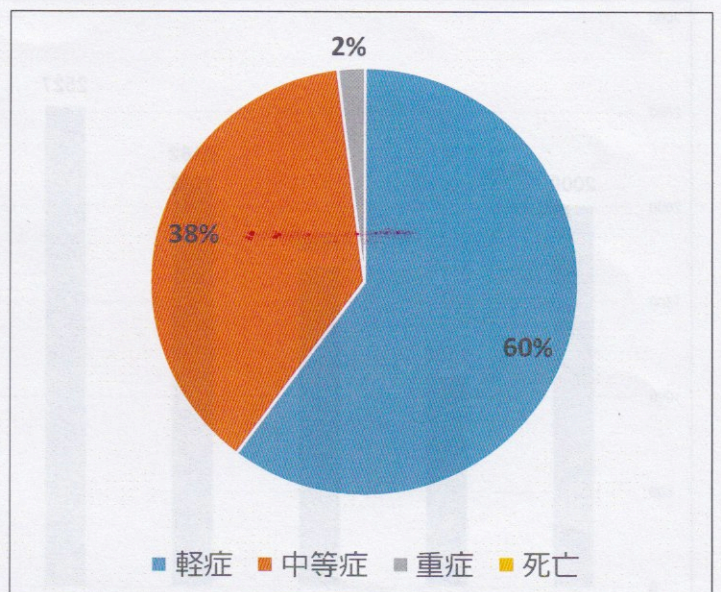
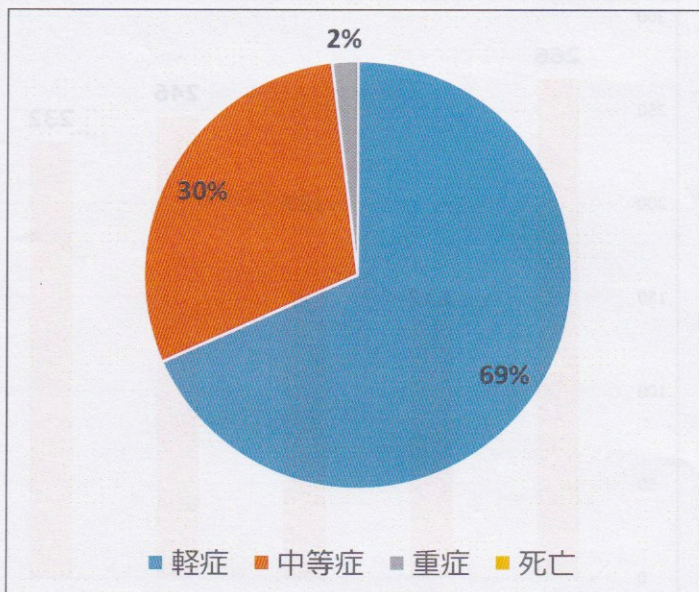
近年の年齢別割合では、高齢者が半数以上を占めている

2023年【静岡県・静岡市】重症度別熱中症搬送割合

Confidential

■ 静岡県

■ 静岡市

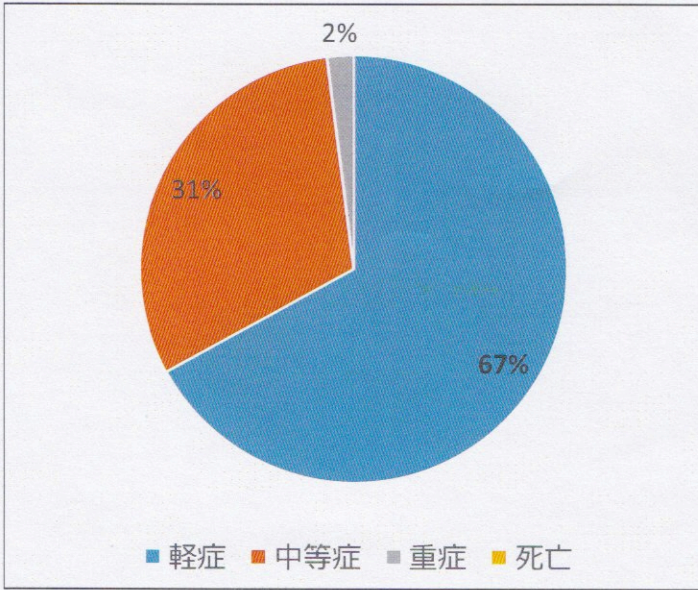


静岡県と比べ静岡市の重症度別割合では、軽症の割合が低く中等症の割合が高い

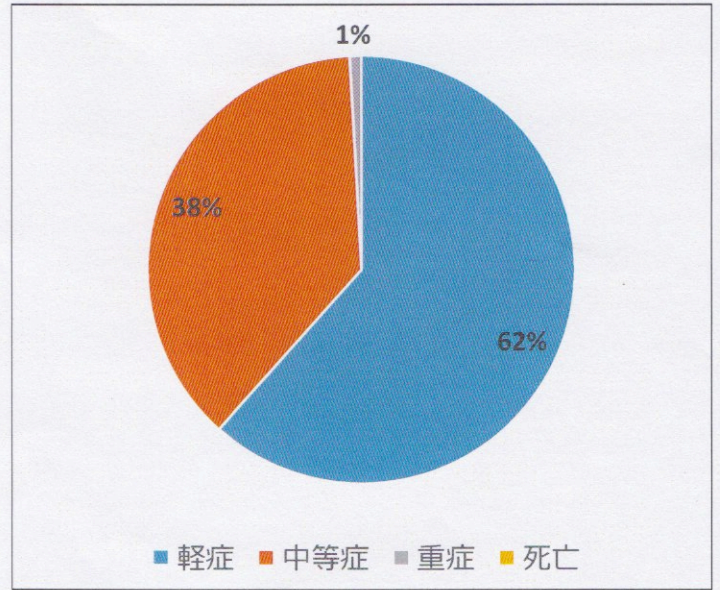
2024年【静岡県・静岡市】重症度別熱中症搬送割合

Confidential

■静岡県



■静岡市



静岡県と比べ静岡市の重症度別割合では、軽症の割合が低く中等症の割合が高い

熱中症対策に係る静岡市の取組

Confidential

● 熱中症(特別)警戒アラート発表時の対応

(1) 熱中症警戒アラート発表時の対応

- ・関係団体等への情報伝達
- ・庁内放送による市民への周知
- ・市職員への注意喚起

(2) 熱中症特別警戒アラート発表時の対応

熱中症警戒アラート発表時の対応に加え、**同報無線**を活用して迅速に市民に周知を図る。

● 静岡市クーリングシェルターの運用

外出時に暑熱被害を抑制するための一時避難場所として公共施設や民間施設で要件を満たす施設をクーリングシェルターに指定。

(1) 運用体制

- ・開設期間: 4月第4水曜日～10月第4水曜日(熱中症警戒アラート運用期間)
※令和6年度は6月26日から実施
- ・受入可能時間: クーリングシェルター指定施設の開館時間による。
- ・受入人数: 受入可能人数を施設ごとに設定する。
※一人あたり滞在することが可能な空間が適切に確保される以上の人数は設定しない。

(2) 指定施設

- ・民間施設 ⇒ **180施設**
 (株)杏林堂薬局、(株)メディエスタ、
 (株)Cool the Earth、静岡県美容業生活衛生同業組合、
 (株)オートバル、ウエルシア薬局(株)、
 マックスバリュ東海(株)、イオンリテール(株)
- ・公共施設 ⇒ **80施設**
 静岡庁舎、清水庁舎、駿河区役所、上下水道局庁舎、
 図書館、老人福祉センター、生涯学習交流館 など



ポスター



のぼり旗